

「奄美小学校の八月踊り・六調伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立奄美小学校

2 学年・人数

1～6年生 488名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成30年9月21日(金) 奄美小学校運動場

(2) 発表の日時・場所

平成30年9月30日(日) 奄美小学校運動場

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

八月踊り・六調(はちがつおどり・ろくちょう)

(2) 由来

収穫期を終えて、年が改まる時に踊るのが八月踊りである。かつては家を一軒ずつ回り、その庭先で「祝付け」の踊りを舞ったそうである。

収穫のお祝いと家々間のつながり強化、お互いの助け合い精神の醸成など、昔ながらの村づくりの精神を引き継いだすばらしい踊りとなっている。

(3) 構成等

秋季大運動会の種目として長年引き継がれている。クラブ活動で練習に取り組んだ児童が、三味線・チヂン・島唄を披露し、それに合わせて全校児童・教職員が一緒になって踊る。保護者・地域民も自由に参加し、運動会を盛り上げる種目となっている。

5 保存会や地域との連携の具体

数年前までは、保存会や地域の方を指導者に招き、踊り等を練習していたが、現在は職員の踊り手が全校児童に指導を行い、地域の手を借りずに踊りを実践している。

平成31年度からは、PTAが中心となり、保護者の練習にも力を入れて運動会当日に多くの保護者の参加をもらえるようにしていく。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

3年生の総合学習やクラブ活動において、三味線やチヂンの演奏を学んでいる。元校長先生に講師をお願いし、演奏の仕方や動きについて教わり、学習発表会で演奏している。そのメンバー数名が、学習の一環として、大運動会の八月踊りにおいて、演奏し花を添えている。

7 取組の様子



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- 手を挙げて自由に楽しく踊って面白かった。(1年児童)
- 三味線・チヂン・島唄の聲がかわいくて、子どもらしい踊りになっていた。(職員)
- 地域の方々も一緒になって踊ることで、学校の良さや子どもたちの様子を知っていただき、また一体感をもった時間を過ごすことができた。(職員)
- 三味線を上手に演奏できてうれしかった。来年も演奏してみたい。(5年児童)
- 歌うのは恥ずかしかったけど、みんな楽しく踊ってくれたのでよかった。(4年児童)
- 他の保護者も巻き込んで、奄美小校区全体で盛り上がる踊りにしていきたい。(保護者)